地域に潜む危険を"見える化"

ハザードマップの作り方を学ぼう！

Let's learn how to make a hazard map!

「ハザードマップ」って何？

ハザードマップは、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを示した地図

災害の種類によっても異なる危険箇所 あらゆる状況を想定して作成を

第2部では、普段は分からない（見えない）地域の中の危険箇所を、"見える化"するための必須アイテムともいえるハザードマップの作り方を学びました。実際に熊本市中心市街地の地図を用意し、その上に透明シートを貼り付け、「水害の際に浸水するエリア」「避難場所になりそうな場所」などをマジックで塗り分けながら確認していきます。日頃、何気なく歩いたり、車で通ったりしている道が浸水の可能性が高いと知り、参加者も驚きを隠せない様子でした。

講師の水野さんは、「地震、水害など、起こる災害によっても危険箇所や避難場所、避難経路は変わる。さまざまな状況を想定し、地域や家庭で独自のハザードマップを作ることが災害への備えの第一歩につながります」と強調。この日は、親子での参加もあり、「わが家でもハザードマップを作ってみよう！」「避難場所を決めておかないといけない」など、それぞれに話し合う姿も見られました。今回学んだ作り方を生かし、次回の実践編でどのようなハザードマップが出来上がるのかが楽しみです！

災害時の危険箇所や被害を"見える化"することの重要性を語る水野さん

事例発表を行った山内さんや水野さんもハザードマップ作りのアドバイザーとして参加

ハザードマップを見ながら自分の住む地域の危険度をチェックする親子

子どもたちも真剣な表情で取り組んでいました

セミナー参加者の感想

"自分ごと"として考え、家族で意識を高めたい

大雨などで浸水する可能性の高い地域に住んでいるため、日頃から気になっていました。災害への備えを"自分ごと"として考え、学んだ防災のノウハウを地域に伝えたいと思い参加しました。ハザードマップ作りでは、災害の起こる時間帯や逃げる際の動線まで考える必要があるなど、多くのことに気付かされました。家に帰って、非常時の家族の避難場所なども改めて話し合います。

小原由輝子さん
しゅうさん

「学び」を行動に移し、伝えていくことが大事

これまでネットなどでハザードマップを見たことはありましたが、どういうものかは理解していませんでした。今回、自分自身で作ることで、地域に潜む危険箇所について改めて考える機会になりました。同時に、災害への不安や恐怖を感じることで、備えの大切さも痛感し、意識が高まったような気がします。将来は防災士の資格を取り、学んだことを多くの人に伝えていきたいです。

渡邊純一さん

目線を変えて学び、今後に生かしたい

管理栄養士をしており、非常時の行動はこれまでも学んできました。しかし、熊本地震を経験し、また父を自宅で介護していることもあり、市民としての知識も学ぶ必要があると思い参加しました。ハザードマップのワークショップの際、山内さんが過去の災害と重ね合わせて説明してくださったのが、とてもふに落ちました。自分だけの知識にしておくのはもったいないので、ぜひ地域に戻って役立てようと思います。

松下みゆきさん

まちづくり探検隊・読者アンケート

「まちづくり探検隊」を読んで感じた、まちづくりや地域活動への興味・関心や、あなたが参加したい活動などを教えてください！

① あなたは普段、まちづくりや地域活動について関心がありますか？（□は1つだけ）
1. とても関心がある　2. やや関心がある　3. あまり関心がない　4. まったく関心がない

② （①で1または2と答えた方）どんな活動に関心がありますか？（□はいくつでも）
1. 清掃　2. まちなみ保全　3. 子育て　4. 青少年育成　5. 教育　6. 文化
7. スポーツ　8. 防犯　9. 防災　10. 高齢者福祉　11. 健康増進　12. 環境美化
13. 緑化　14. 観光　15. まちおこし　16. その他（　　）

③ まちづくりや地域活動に参加したことがある、または参加していますか？
1. 参加したことがある（している）　2. 参加したことがない

④ （③で参加したことがある（している）と答えた方）それはどんな活動ですか？

⑤ （③で参加したことがないと答えた方）その理由を教えてください。

⑥ 将来、まちづくりや地域活動に参加したいですか？
（現在参加している方は今後も参加したいですか？）（□は1つだけ）
1. 参加したい　2. どちらとも言えない　3. 参加したくない

⑦ （⑥で参加したいと答えた方）それはどんな活動ですか？（□はいくつでも）
1. 清掃　2. まちなみ保全　3. 子育て　4. 青少年育成　5. 教育　6. 文化
7. スポーツ　8. 防犯　9. 防災　10. 高齢者福祉　11. 健康増進　12. 環境美化
13. 緑化　14. 観光　15. まちおこし　16. その他（　　）

⑧ 「くまにちすばいず」に毎週で掲載している「まちづくり探検隊」を読んだことがありますか？
1. 読んだことがある　2. 読んだことがない

⑨ （⑧で読んだことがあると答えた方）掲載されている特集はありますか？（□はいくつでも）
1. 「江津湖の自然と水を守る会」の活動体験　2. 「池上校区ウォーターボーイズ」の取材
3. こども会の活動の取材　4. 消防団の活動体験
5. 校区自治協議会・町内自治会の活動の取材　6. 校区防犯パトロールの活動体験
7. 「川尻精霊流し」の活動の取材　8. 第1回セミナー詳報　9. 防災キャンプの活動体験
10. 総合型地域スポーツクラブの活動の取材　11. 民生委員・児童委員の活動の取材
12. 「堀庄校区自治協議会会長・上田清美子さん」の取材　13. どれでもない

⑩ （⑧で読んだことがあると答えた方）「まちづくり探検隊」の紙面を読む前と後を比べてみて、まちづくりや地域活動に対するあなた自身の意識や行動に、次に挙げるような変化はありましたか？（□はいくつでも）
<地域活動に参加したことがあった方>
1. さらに興味・関心が高まった　2. さらに参加意欲が高まった
3. 参加する活動の数（または頻度）が増えた
4. 変化なし　5. その他（　　）
<地域活動に参加したことがなかった方>
6. 興味・関心が高まった　7. 参加意欲が高まった　8. 実際に地域活動に参加した
9. 変化なし　10. その他（　　）

⑪ あなたの年代と性別を教えてください。
<年代>20代　30代　40代　50代　60代　70代以上
<性別>男性　女性

アンケートに応募いただいた方の中から抽選で30名に粗品を進呈

応募方法
アンケート項目の回答のほか、氏名、郵便番号、住所、年齢、電話番号、メールアドレスをご記入の上、下記の要項でお送りください。

対象
熊本市に在住または通勤、通学する20歳以上の男女

締め切り 11/9(金)

はがき
〒860-8506　※住所は不要です
熊本日日新聞社　業務推進局営業企画部
「かたってみようまちづくり」セミナー係
※個人情報は連絡のみに使用します

FAX
096(372)8711

すばいすHP応募フォーム
右記のQRコードから飛べます